

有機農業と地域振興を考える 自治体ネットワーク準備会合の 開催趣旨

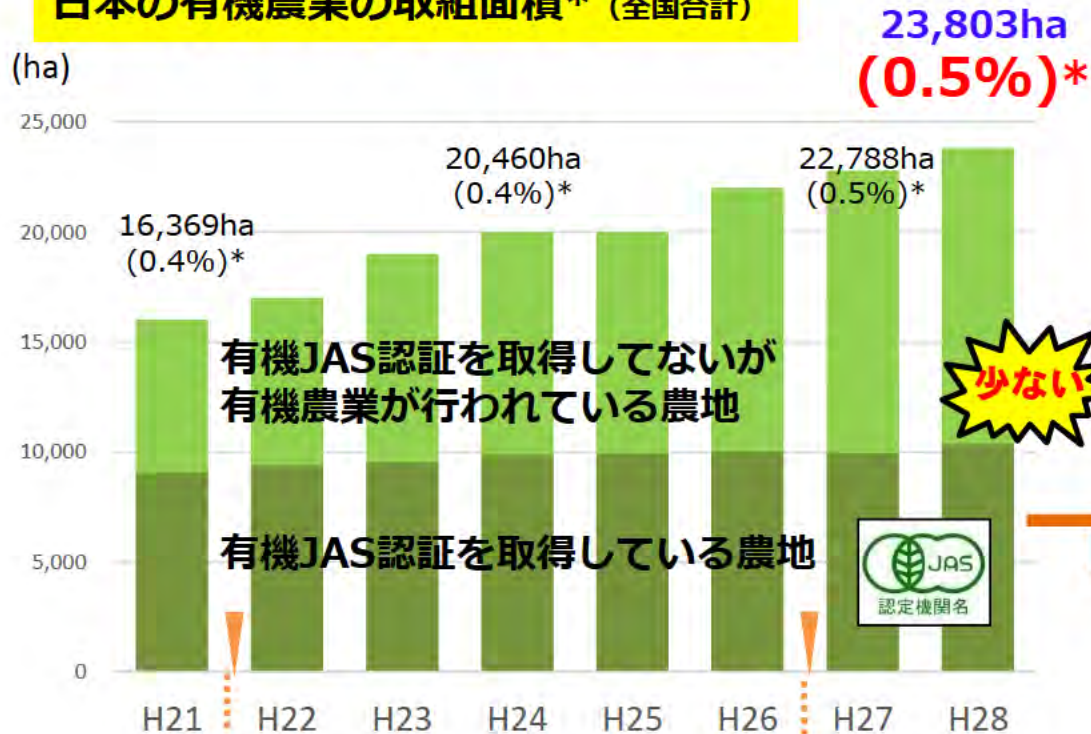
農林水産省

生産局農業環境対策課

有機農業をめぐる事情

○日本の有機農業は世界各国に比べても取組少ない

日本の有機農業の取組面積* (全国合計)



各国の有機農業*の面積割合(2016年)

国名	面積割合 (%)
イタリア	14.5%
ドイツ	7.5%
フランス	5.5%
韓国	1.2%
中国	0.4%
日本 (有機JAS取得農地)	0.2%

* ここでの「有機農業」は、国際規格（コーデックス規格）の水準のもの。
この場合、日本では有機JAS認証を取得している農地のみが比較対象となる。

出典：FiBL&IFOAM「The world of organic agriculture Statistics & Emerging Trends 2018」をもとに農業環境対策課取りまとめ。

* () 内の数字は各年度における我が国の耕地面積に占める有機農業取組面積の割合

※ 有機JAS認証取得農地面積は食品製造課調べ。有機JASを取得していない農地面積は、農業環境対策課による推計
(注：有機JASを取得していない農地面積は、H21年、22～26年及び27～28年度で、調査・推計方法が異なる。
また、都道府県ごとにも集計方法が異なる。)

有機農業をめぐる事情

○他方、農業への新規参入者は有機農業志向

調査年度	全作物で有機農業を実施している新規参入者の割合 (%)	一部作物で有機農業を実施している新規参入者の割合 (%)	調査対象者数 (人)
H22	20.7	5.9	1,753
H25	23.2	5.7	711
H28	20.8	5.9	2,370

※ 新規就農者の就農実態に関する調査（H22, H25, H28 全国農業会議所 全国新規就農相談センター）に基づき農業環境対策課作成。本調査における「新規参入者」は、農業に参入後10年目までの者を対象とする。

※ 各年度の新規参入者数は、1,730人（H22）、2,900人（H25）、3,440人（H28）（新規就農者調査（農林水産省）より）。

有機農業をめぐる事情

○各地には 有機農業を交流やライフスタイル等に生かして、
様々な地域振興に取り組む自治体あり

埼玉県小川町
「オーガニックフェス」



※ 小川オーガニックフェスHPより

山梨県北杜市
「山紫水明の里」



※(一社)北杜市観光協会HPより

本日ご発表の各自治体でも、**地域の特色を生かした様々な取組を実施**

自治体間の連携により目指したいこと

○農業への新規参入者は有機農業志向

×

○有機農業を生かして

様々な地域振興に取り組む自治体

||

先進的な自治体の取組を横展開できる

環境をつくり、有機農業を志向する新規参入者等を

支援し様々な地域振興に取り組む自治体

を増やすことで、全国の有機農業の取組拡大

につなげたい。

本日のセミナー

1. 基調講演

持続可能な「食と農」における自治体への期待

(東京農業大学「食と農」の博物館 上岡 美保 副館長兼教授)

2. 有機農業を核として先進的な取組を進めている

全国6つの自治体からの取組等の紹介

千葉県 いすみ市

岐阜県 白川町

兵庫県 丹波市

徳島県 小松島市

熊本県 山都町

宮崎県 綾町

3. 今後の取組に向けた**提案、意見交換**

4. **ネットワーキング**